

活動情報



第 1 5 号



パソコン簿記初級講座を開催

－ 記帳はパソコンで －

飯塚地域担い手・産地育成総合支援協議会（事務局は飯塚普及指導センター）は、認定農業者や新規就農者等、地域農業の担い手の経営改善に向けた取組の一環として、経営管理講座を実施しています。

今回、パソコン簿記の初級として、8月2日から9月12日にかけて、普及指導センターで全5回の講座を開催しました。受講者9名を対象にセンター職員が、複式簿記の基礎知識の講座と併せて、簿記ソフトを活用した記帳の演習も行いました。

受講者の多くは就農3年未満の新規就農者でありましたが、受講者は自身の経営状況を的確に把握しようと、毎回熱心に受講されました。アンケートでは、ほとんどの受講者が「記帳や簿記の大切さなど講座の内容を理解できた」との回答でしたが、「パソコンへの入力についてもう少し説明して欲しい」との要望がありました。

協議会では、10月から月に1度のペースで、パソコン簿記の中級講座を開催することとしています。ここで、実際に経営収支等のデータ入力を行いながら、個別に経営状況の把握や分析を指導していきます。

今後とも、普及指導センターでは、協議会の活動とも連携しながら、地域の核となる持続性のある経営体の育成に取り組んでいきます。



複式簿記の仕組みの説明



受講者への個別操作指導